

～ファンのコメント～

- 驚いた。とても斬新で今まで見た(聴いた)こともない演奏でした。
- クラシックを切り口としたジャズ。最後は「千尋ワールド」のファンになってしまった。なんだかとても嬉しい気持ち、ハッピーな気持ちになったのです。
- 千尋さんの天才的なピアノタッチが圧巻で、演奏者としての技術、パワーは圧倒的、弾きながら椅子から立ち上がってしまう程の音の強さ、なにしろ迫力がありません。(40代・男性・東京都)
- 初ジャズライブがこんなに最高のライブで幸せです!! 楽しかったです!! (50代・女性・東京都)

細川 千尋 (ピアノ・作曲)
 CHIHIRO HOSOKAWA piano・composition



©Ai Ueda

富山県出身。幼少よりピアノが大好きで、時間があればピアノに向かっていた。数々の賞を受賞し、2013年には、スイスのモントルー・ジャズフェスティバル・ピアノソロ・コンペティションにて、日本人女性初のファイナリストとなる。

同年11月、富山でソロ・コンサートを行い、モントルー・ジャズ・フェスティバル・イン・かわさきでは、チューチョ・ヴァルデス公演のオープニング・アクトを務め、連弾で共演。2014年4月にはアルテリッカしんゆり芸術祭にてソロ・コンサート、8月にはミュゼ川崎シンフォニーホールでガーシュウインのラブソディ・イン・ブルーをオーケストラと共演。9月、モントルー(スイス)で行われたセプテンバー・ミュージックにソロで出演。川崎市アゼリア輝賞受賞。これまでに、イタリア、スイス、ベルギーでソロ・リサイタルを開催。

幅広いジャンルの演奏活動を国内外で行っている。クロスオーバーなオリジナル曲とトークも交えたソロ・ピアノコンサートは、高い評価を得ている。2017年2月14日には大阪・ザ・シンフォニーホールにて大阪交響楽団をバックに熱演を披露、大好評に終わり、1年後の同日での再演を決める。

録音では、2014年11月に全曲ソロ・ピアノ・オリジナル作品のデビュー CD『Thanks!』を、2016年2月にはセカンド・アルバム『I'm home!』を発表。2017年11月にリリースの最新盤『CHIHIRO』では鳥越啓介(ベース)、石川智(ドラム・パーカッション)とトリオを結成。自身初のトリオでの録音リリースする。同トリオにて12月に浜離宮朝日ホールで公演、本人アレンジによるクラシック曲のジャズアレンジが大好評を博す。

昭和音楽大学大学院修了。現在、昭和音楽大学附属ピアノアートアカデミーに在籍。江口文子氏に師事。



©藤本史昭

鳥越 啓介 (ベース)
 KEISUKE TORIGOE Bass

岡山県玉野市生まれ。高校時代、吹奏楽部に入部しコントラバスを弾き始める。高校卒業後、社会人の傍ら地元のビックバンドなどで活動。96年脱サラ、97年上京。その後、ジャズ・邦楽・ポップス・タンゴ・ブラジル音楽などその豊かな才能を駆使し、国内のみならず海外公演も含め、自らのバンドを展開し、また様々なセッションやレコーディングに参加。近年の主な共演者に椎名林檎、原田知世、加藤登紀子、安藤裕子、菊池成孔、MALTAらが名を連ねる。



©藤本史昭

石川 智 (ドラム・パーカッション)
 SATOSHI ISHIKAWA Drums, Percussion

1967年、東京出身。ブラスバンドでパーカッションを演奏していた兄の影響で、9歳の頃からパーカッションを始める。中学時代、同級生と組んだロックバンドで初めてドラムを叩き始める。高校時代はフュージョン、ハードロック等にいそしみ、大学在学中にパーカッションを始め、ラテン音楽に目覚める。その中でも特にブラジル音楽に傾倒、サンバ、ボサノヴァをはじめ、ブラジルのあらゆるリズム、奏法、アンサンブルスタイルをマスターする。この頃よりプロとしての演奏活動を開始。あらゆるセッション、レコーディングに積極的に参加し、その共演者やジャンルは多岐にわたる。

富山県高岡文化ホール

〒933-0055 高岡市中川園町13-1
 TEL.0766-25-4141 FAX.0766-25-4332
 e-mail:takabun@p1.coralnet.or.jp

※駐車場の台数には限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。



12/7 大坂昌彦スペシャル・ユニット
 「スタンダード・バスターズ」JAZZ ライブ
 大坂昌彦 (Dr) 川嶋哲郎 (Sax) スガダイロー (Pf) 川村竜 (B)
 会場：富山県高岡文化ホール 大ホール
 一般前売 3,000円 (当日 3,500円)

